

学生募集要項

2023

令和5年4月入学

【推薦入試】



大学院 人文社会芸術総合研究科 人文社会芸術総合専攻 (修士課程)

●共創経済プログラム

令和4年4月

富山大学

新型コロナウイルスの感染拡大等の不測の事態により、試験日程等本学生募集要項の内容を変更する場合があります。変更する必要がある場合は、本学ウェブサイトでお知らせいたしますので、最新の情報を確認するよう留意してください。

<https://www.u-toyama.ac.jp>

目 次

I 共創経済プログラム	2
1. 推薦入試	
1) 募集人員	
2) 出願資格	
3) 推薦要件	
4) 選抜方法	
5) 試験日程等	
2. 出願書類	
II 連絡事項	5
1. 出願期間及び出願方法	
2. 入学検定料支払手順	
3. 受験票の送付	
4. 合格者発表	
5. 入学手続	
6. 注意事項	
7. 志願者の個人情報保護について	
8. 安全保障輸出管理について	
9. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学志願者への要請事項	
III 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）の概要	10
1. 大学院人文社会芸術総合研究科の特長	
2. 課程の修了，学位の授与	
3. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について	
4. 長期履修制度について	
5. 人文社会芸術総合研究科共創経済プログラム研究指導担当教員一覧	

【添付書類】

1. 入学願書
2. 受験票・写真票
3. 志願理由書
4. 研究計画書
5. 収納証明書貼り付け台紙
6. 履歴書（外国籍を有する者のみ）
7. 安全保障輸出管理に関する誓約書（外国籍を有する者のみ）
8. 推薦書
9. 検定料返還請求書（該当者のみ：出願書類ではありません）

人文社会芸術総合研究科入学者受入方針

本研究科は、人文科学，社会科学，芸術文化学についての強い関心と基礎的能力を有し，論理的思考力と創造性を持ち，文化，社会の発展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

- ・共創経済プログラム

社会科学についての強い関心と基礎的能力を有し，論理的思考力と創造性を持ち，社会の進展に寄与しようとする意欲を備えている者を受け入れる。

I 共創経済プログラム

1 推薦入試

1) 募集人員

専攻	プログラム名	募集人員
人文社会芸術総合専攻	共創経済プログラム	若干名

2) 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、かつ、「3) 推薦要件」の各号のいずれかを満たす者とする。

- (1) 日本の大学を令和5年3月に卒業見込みの者で、かつ、学業成績、人物ともに優れ、出身大学長（学部長）又は指導教員が責任を持って推薦でき、合格した場合には、入学を確約できるもの
- (2) 短期大学専攻科または高等専門学校専攻科を令和5年3月修了見込みの者で、かつ、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構に学士の学位（学校教育法第104条第7項第1号に規定する学位）の授与申請見込み（令和5年3月に学位取得見込み）であり、学業成績、人物ともに優れ、出身大学長、出身学校長または指導教員が責任を持って推薦でき、合格した場合には、入学を確約できるもの

3) 推薦要件

- (1) 「2) 出願資格」の(1)で出願する場合（次の2点をすべて満たすこと。）
 - ① 3年次修了時まで、100単位以上（ただし、卒業要件に含まない科目を除く）を修得していること（成績評価が「認」、「合」で行われる科目の単位を含む）
 - ② 修得単位のうち、成績評価が「優（A）」（「秀（S）」評価を実施している場合を含む）、「良（B）」、「可（C）」で行われる科目の合計単位数の6割以上が「優（A）」以上であること
- (2) 「2) 出願資格」の(2)で出願する場合（次の2点をすべて満たすこと。）
 - ① 専攻科1年次修了時まで、100単位以上を修得していること（成績評価が「認」、「合」で行われる科目の単位を含む）
ただし単位数は、短期大学専攻科の場合は、短期大学の修得単位数と専攻科1年次までの修得単位数を合計した数とし、高等専門学校専攻科の場合は、高等専門学校本科4、5年次の修得単位数と専攻科1年次までの修得単位数を合計した数とする
 - ② 修得単位のうち、成績評価が「優（A）」（「秀（S）」評価を実施している場合を含む）、「良（B）」、「可（C）」で行われる科目の合計単位数の6割以上が「優（A）」以上であること

4) 選抜方法

入学者の選抜は、研究レポート及び口述試験を総合して行います。

5) 試験日程等

試験日	時間	科目等	試験場
令和4（2022）年 7月6日（水）	13:15	集合	富山大学 五福キャンパス 経済学部
	13:30～	口述試験	

2. 出願書類

出願書類	摘 要
① 入学願書	本学所定の用紙による。
② 写真票・受験票	本学所定の用紙による。 出願前3か月以内に撮影した上半身脱帽、正面写し、縦4cm、横3cmの写真を貼り付け、所要事項を記入してください。
③ 学業成績証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。
④ 卒業（見込）証明書	出身大学長又は学部長が作成したもの。なお、本学学部卒業見込出身者は提出する必要はありません。 外国人留学生でやむを得ず提出できない場合は必ず卒業証書本紙を事前に受付窓口に呈示し、卒業証書の写しを提出してください。
⑤ 入学検定料 (30,000円) ※必ず本学所定の台紙に「 <u>収納証明書</u> 」を貼り付けて提出すること。	入学検定料は、「Ⅱ 連絡事項 2. 入学検定料支払手順」に従って、入学検定料支払いサイトから支払手続きを行ってください。 入学検定料の支払方法は、日本国内の場合は、コンビニエンスストア、クレジットカード、ネットバンキング、ペイジー対応郵便局・銀行ATMのいずれかとなります。日本国外の場合は、クレジットカードでお支払いください。 入学検定料の支払後、「 <u>収納証明書</u> 」を入学検定料支払いサイトからダウンロードして印刷し、「 <u>収納証明書貼り付け台紙</u> 」の所定欄に貼り付けてください。 入学検定料支払いサイト https://e-apply.jp/n/toyama-gs-payment/ 注意事項 ・入学検定料のほか、手数料が別途必要です。 ・支払手続き時に登録する「氏名」「住所」等は入学願書に記載した「氏名」「現住所」と同一にしてください。 ・出願期間の1週間前から入学検定料の支払手続きが可能です。
⑥ 志願理由書および研究計画書	本学所定の用紙による。
⑦ 受験票等送付用封筒（長形3号）	長形3号の封筒に郵便番号及びあて名を明記し、 <u>344円分の郵便切手</u> を貼り付けてください。
⑧ 学位授与証明書または学位授与申請（予定）証明書	【出願資格（2）に該当する者のみ提出】 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が発行するもの、もしくは短期大学長または高等専門学校長が発行する学位授与申請（予定）証明書。
⑨ 推薦書	本学所定の様式による。出身大学の学長（学部長）、出身学校長または指導教員が作成し、 <u>厳封したもの</u> 。
⑩ 研究レポート ^注	入学後の研究計画に関連した事項についてテーマを設定し、研究レポートを3,000字程度（様式任意）で作成してください。
⑪ 履歴書	【外国籍を有する者のみ提出】 本学所定の用紙による。
⑫ 住民票の写し	【日本国内に居住している外国籍を有する者のみ提出】 居住している市・区・町・村長の発行のもの（在留資格が明示されているもの）。
⑬ 日本語能力試験 N1（1級）又は日本留学試験（日本語）の成績通知書等	【外国籍を有する者のみ提出】 （独）国際交流基金及び（財）日本国際教育支援協会が実施する日本語能力試験の成績通知書等又は（独）日本学生支援機構が実施する日本留学試験（日本語）の成績通知書等（写しでも可）を提出してください。 ただし、これらの成績通知書を提出できない場合は、提出できない理由を出願前に申し出てください。

⑭	誓約書	本要項の「Ⅱ 連絡事項 8. 安全保障輸出管理について」及び誓約書の内容を確認し、出願者本人が自署の上、必ず提出してください。
---	-----	---

○ 提出書類のうち、③、④、⑥、⑩、⑪について、外国語で記載されたものは、日本語訳を添付してください。

注 研究レポート作成にあたっての注意事項は、次のとおりです。

- ・以下の要件をどの程度備えているかが審査の基準となります。
 - テーマの設定が適切であるか。
 - 問題意識を明確にしているか。
 - 専門性を備えているか。
 - 論文としての体裁をなしているか。
 - 研究資料の引用が適切であるか。
- ・他の著作物を盗用してはいけません。

II 連絡事項

1. 出願期間及び出願方法

試験区分		出願期間
共創経済プログラム	推薦入試	令和4（2022）年6月1日（水） ～ 7日（火）午後4時まで

志願者は、出願書類を取りそろえ、上記の出願期間内に書留速達郵便で送付してください。なお、本学所定の用紙は、富山大学ウェブサイトからダウンロードするものとし、配付はしませんので注意してください。

原則、出願は郵送とし、上記期間までに必着とします。やむを得ず持参する場合は、午前9時から午後4時まで受け付けます（土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません）。期限後の提出は受理しません。ただし、令和4年6月6日（月）以前の消印（日本国内の郵便の消印に限る。）のある書留速達郵便に限り、出願期限以降に到着した場合でも受理します。

なお、封筒に「大学院人文社会芸術総合研究科入学願書在中」と朱書きしてください。

出願書類提出先

プログラム名	照会・提出先		
共創経済プログラム	富山大学経済学部 (入試担当)	076-445-6410	五福キャンパス 〒930 - 8555 富山市五福 3190

2. 入学検定料支払手順

入学検定料支払手順

※ご利用にあたってはメールアドレス・インターネット接続環境・プリンター（A4出力）が必要です



出願は学生募集要項に記載の必要書類と入学検定料収納証明書を併せて郵送して完了となります。入学検定料支払いサイトから登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。



STEP 1 入学検定料支払いサイトへアクセス

入学検定料支払いサイト

▶ <https://e-apply.jp/n/toyama-gs-payment/> または、
大学ホームページ

▶ <https://www.u-toyama.ac.jp/admission/graduate-exam/graduate>
からアクセス



STEP 2 支払内容の登録

- ①画面の手順や留意事項を必ず確認してください。
- ②入学検定料の支払方法を選択してください。
- ③画面に従って支払内容の選択、必要事項を入力してください。
支払いに必要な番号を控えてください。



STEP 3 入学検定料の支払い

【コンビニ・ペイジー対応銀行ATMで支払う場合】

コンビニ（セブン・イレブン、ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、デイリーヤマザキ、セイコーマート）・ペイジー対応銀行ATM・ネットバンキング各種で入学検定料を払い込んでください。
※日本国内のみ利用可能

【クレジットカードで支払う場合】

お手元にクレジットカードのカード情報をご準備の上、画面に従って入学検定料をお支払ください。

（ご利用可能なクレジットカード）
VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード

※入学検定料の支払いには、別途手数料が必要です。



STEP 4 入学検定料「収納証明書」の印刷

検定料の支払完了後、「収納証明書」を入学検定料支払いサイトからダウンロードして印刷し、本学所定の台紙に貼り付けてください。



STEP 5 出願書類の提出

「収納証明書」及び他の出願書類と併せて出願期間内に届くように書留速達郵便で送付してください。

※出願書類の郵送先は学生募集要項を参照してください。



●支払内容の登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい内容で再登録することで、修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

3. 受験票の送付

受験票は、出願締切後に受験票送付用封筒記載の住所宛に郵送いたしますが、試験日の1週間前になっても受験票が届かない場合は、経済学部（入試担当）へ照会してください。

4. 合格者発表

以下の日時に合格者の受験番号を富山大学ウェブサイトに掲載するとともに本人に合格通知書を郵送します。

なお、電話その他による問い合わせには一切応じません。

発表日時 令和4年7月19日（火）10時

5. 入学手続

入学手続は次のとおり行いますが、詳細は合格者に通知します。

(1) 入学手続

令和5（2023）年3月8日（予定）

(2) 入学手続時に要する経費

ア 入学料 282,000円（予定額）

上記の入学料は予定額であり、入学時に入学料を改定した場合は、新たな入学料を適用します。

また、納付された入学料は返還しません。

入学を辞退する場合は、必ず書面（任意様式）で手続をしてください。

イ その他

学生教育研究災害傷害保険等の経費が別途必要です。

(3) 入学手続期間内に手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。

(4) 授業料の納付について

入学後（前期分は5月、後期分は11月）にそれぞれ口座振替により納付することとします。

納付金額・納付方法等の詳細については、入学手続時に通知します。

〈参考〉令和4（2022）年度授業料 年額 535,800円

(5) 入学料、授業料とも、以下の条件を満たす者には、選考の上、全額または半額の免除を認める制度があります。

① 経済的理由により納付が困難ながら、学業優秀と認められる者

② 学資負担者が死亡するか、風水害等の特別の事情により納付が著しく困難であると認められる者

(6) 奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、日本学生支援機構等から奨学金が貸与されます。

6. 注意事項

(1) 受験票は、本人宛に郵送します。受験の際は、必ず受験票を携帯してください。

(2) 試験当日は、それぞれの集合時刻までに各会場に集合し、受付をしてください。

(3) 出願手続き後の願書等記載事項の変更は一切認めません。また、出願書類は、返却する旨を明示している場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。

(4) 一旦、受領した検定料は、次の場合を除き、返還しません。

① 検定料を払い込んだが富山大学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合 《返還額》 30,000円

② 検定料を二重に払い込んだ場合 《返還額》 30,000円

③ 検定料を多く払い込んだ場合 《返還額》 多く払い込んだ額

ただし、返還時の振込手数料は、受取人負担とします。

※返還請求の方法

別添の「検定料返還請求書」に必要事項を記入し、本学へ郵送してください。

なお、①及び②の場合は、必ず、「収納証明書」を貼り付けてください。

「送付先：〒930-8555 富山市五福3190 富山大学財務部経理課

電話 076-445-6053」

- (5) 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。
- (6) 障害等（視覚障害，聴覚障害，肢体不自由，病弱，怪我，発達障害等）があつて、受験上及び修学上特別な配慮を希望する志願者は、令和4（2022）年5月18日（水）までに各学部（入試担当）に申し出てください。また、申し出に基づき相談が必要となった場合、令和4（2022）年5月25日（水）までに申請書（様式は任意）に医師の診断書（写しでも可）を添え、提出してください。

7. 志願者の個人情報保護について

本学が保有する個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「国立大学法人富山大学個人情報保護規則」に基づいて取り扱います。

- (1) 出願にあたって知り得た氏名，住所その他個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜方法等における調査・研究，⑤これらに付随する業務を行うために利用します。
- (2) 出願にあたって知り得た個人情報は，本学入学手続完了者についてのみ，入学後における①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，授業料免除・奨学金申請，就職支援等），③授業料徴収に関する業務，④統計調査及び分析を行うために利用します。
- (3) 本学合格者についての受験番号，氏名及び住所に限り，関係団体である同窓会及び生活協同組合からの連絡を行うために利用する場合があります。なお，これらの団体からの連絡を希望しない場合は，各プログラム出願書類提出先まで，その旨を申し出てください。
- (4) 各種業務での利用にあたっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下「受託業者」という）において行うことがあります。業務委託にあたり，受託業者に対して，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，知り得た個人情報の全部又は一部を提供しますが，守秘義務を遵守するよう指導します。

8. 安全保障輸出管理について

富山大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」を定めて、技術の提供，貨物の輸出の観点から，安全保障輸出管理について厳格な審査を行っています。規制されている事項に該当する場合は，入学を許可できない場合や希望する教育が受けられない，希望する研究活動に制限がかかる場合がありますので，出願にあたっては注意してください。

なお，出願時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する誓約書に署名していただきます。詳細については，本学ウェブサイトを参照してください。

【参考】「国立大学法人富山大学安全保障輸出管理規則」

URL <http://www3.u-toyama.ac.jp/soumu/kisoku/pdf/0110401.pdf>

9. 新型コロナウイルス感染症対策に伴う入学志願者への要請事項

1 感染防止のための注意事項

日頃から感染防止について心がけるとともに、朝などに体温測定を行い、体調の変化の有無を確認すること。

(参考) 受験生のみなさんへ ～新型コロナウイルス感染防止のための注意事項～

https://www.mext.go.jp/content/20201218-mext_daigakuc02-000005144_1.pdf



2 医療機関での受診

試験日の2週間程度前から、発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関での受診を行ってください。

3 受験できない者

新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の方は受験できません。発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者*については、一定の条件のもと、受験できる場合がありますので、事前に連絡してください。

海外から日本に入国して受験する場合、入国後の待機期間中は受験できません。

* 濃厚接触者とは、保健所より「濃厚接触者に該当する」と伝えられた方を指します。

4 試験当日における対応

- ・ 発熱・咳等の症状のある受験者は、試験当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は受験を取り止めてください。また、37.5度までの熱はないものの、発熱や咳等の症状のある受験者は、その旨を試験監督者等に申し出てください。

- ・ 症状の有無にかかわらず、各自マスク（白・淡色無地を推奨、何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は、あらかじめ大学に相談すること）を持参し、試験場では、昼食時以外は常に着用し、休憩時間や昼食時、入退場時等における他者との接触、会話を極力控えてください。ただし、試験中の本人確認時等にマスクをはずすよう指示する場合があります。

- ・ 使用済マスク等を収納するビニール袋を必ず持参するようにしてください。

- ・ 本学では試験監督者及び試験場係員もマスクを着用します。

5 試験当日の服装，昼食

試験当日、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるため、気温に留意し、上着など暖かい服装を持参してください。また、試験場においては、食堂や売店は使用できないため、昼食を持参し、あらかじめ指定された時間内に自席で食事をとってください。

6 手指消毒

試験当日は各試験場に消毒液を設置しますので、試験室への入退室を行うごとに、各自手指消毒を行ってください。また、使用済マスクや鼻をかんだ後のティッシュ等は、必ずビニール袋に入れ密閉してゴミ箱に捨ててください。

7 予防接種

他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、各自の判断において予防接種を受けておくことを推奨します。

8 「新しい生活様式」等の実践

日頃から、「三つの密」の回避や、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染症対策の徹底を行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠など、体調管理に心がけてください。

9 3の受験できない者に該当する場合や試験当日の検温で37.5度以上の熱がある場合速やかに本学に連絡してください。また、試験終了後、14日以内に体調不良が認められた受験者は本学に連絡してください。

10 試験当日は、受験者控室及び付添者控室は設置しません。

11 新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をダウンロードしておくことが望ましいです。

なお、アプリから通知を受けたことにより直ちに濃厚接触者であることを意味するものではありません。

Ⅲ 大学院人文社会芸術総合研究科（修士課程）の概要

1. 大学院人文社会芸術総合研究科の特長

本研究科は、「”人”と”地”の健康」をキーワードとして、人文科学、社会科学、芸術文化学における各分野の高度な専門性を究めるとともに、領域を横断した複眼的視野を備えることにより、新たな価値、文化、社会を創ることができる人材を養成することを目的として、以下の3プログラムから構成されている。

- 心理学プログラム
- 人文・芸術プログラム
- 共創経済プログラム

2. 課程の修了，学位の授与

本研究科に2年以上在学して、所定の授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、学位論文又は特定の課題についての研究成果の審査及び最終試験に合格した人には、以下の学位を授与します

心理学プログラム：修士（心理学）

人文・芸術プログラム：修士（文学）、修士（芸術文化学）

共創経済プログラム：修士（経済学）、修士（経営学）

3. 大学院設置基準第14条に基づく教育方法の特例措置について

大学院設置基準第14条では、「教育上特別の理由があると認められる場合には、夜間その他特定の時間又は期間において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる」旨が規定されています。

これを踏まえ、人文社会芸術総合研究科においては、本人の事情（所属先の勤務条件等）を考慮し、昼夜開講やその他の時間帯・時期等可能な範囲で相談に応じます。

4. 長期履修制度について

長期履修制度により計画的な履修ができます。本人からの入学時の申請に基づき、選考により、通常2年間の在学年数を3年間又は4年間に延長し、計画的に履修を行うことができます。この場合の授業料年額については、本来支払うべき授業料年額に標準修業年限（2年）を乗じて得た額を、長期履修期間の年数で除した額となります。

5. 人文社会芸術総合研究科共創経済プログラム研究指導担当教員一覧

共創経済プログラム 経済学系

氏名	専門分野
教授 青木 一益	政治学, 政策過程論, 公共政策学
教授 王 大鵬	アジア経済論, 中国経済論, 通商政策論
教授 小柳津 英知	地域経済学, 石油化学産業論
教授 垣田 直樹	国際貿易理論
教授 唐渡 広志	都市経済学, 計量経済学
教授 高山 龍太郎	社会学
教授 中村 真由美	社会学
教授 本間 哲志	金融論, 計量経済学, 産業組織論
教授 松井 隆幸	日本産業論
教授 モヴシュク オレクサンダー	計量経済学
教授 両角 良子	社会保障, 医療経済学, 労働経済学
教授 龍 世祥	環境経済学
准教授 大坂 洋	ミクロ経済学
准教授 小寺 剛	政治経済学, マクロ経済学
准教授 松山 淳	政治経済学
准教授 矢島 桂	日本経済史
准教授 山田 潤司	マクロ経済学, 金融論

共創経済プログラム 経営学系

氏名	専門分野
教授 岩内 秀徳	国際経営論
教授 上東 正和	会計情報システム論, 管理会計論, 原価計算論
教授 香川 崇	民法
教授 岸本 壽生	多国籍企業論, 国際ビジネス論
教授 坂田 博美	消費者行動論
教授 竹地 潔	労働法
教授 鳥羽 達郎	マーケティング論, 流通論
教授 橋口 賢一	民法 (主として, 債権法)
教授 平野 真由	金融取引法, 民事法
教授 馬 駿	組織と人材のマネジメント
教授 森口 毅彦	管理会計論
教授 柳原 佐智子	経営情報システム
教授 横山 一憲	オペレーションズ・リサーチ
准教授 岩本 学	民事訴訟法, 国際私法

氏 名	専門分野
准教授 神野 賢治	スポーツ社会学, スポーツ経営学, スポーツマネジメント論, スポーツまちづくり
准教授 櫻田 貴道	経営管理論, 経営組織論
准教授 眞部 典久	原価計算論, 管理会計論